

発明の名称:植物体の栄養成分増強方法

利用・用途・応用分野

機能性物質含量を増加させた植物の栽培、スプラウト、特定保健用食品や栄養機能食品漢方薬を含む医薬品の提供

目的・課題

芽ネギをはじめ、単子葉栽培植物の栄養成分の改良。栄養成分中の機能性物質を増加させた保健機能食品を提供すること、またこの方法での生産芽ネギを処理して得られる食品を提供すること。

解決ポイント

芽ネギに波長域280~380nmのUV光源由来の光を播種後3~30日の芽ネギに、12時間日長周期の明期に、3~10分間を4~8日間照射し、アスコルビン酸及び/又はポリフェノールを増加させる芽ネギの栽培方法(2)UV光源が波長域280~380nmで、かつ波長312nm付近にピークを有することを特徴とする請求項1記載の芽ネギの栽培方法。

研究概要・アピールポイント

人工の紫外線(UV)を、単子葉栽培植物の芽ネギに照射することにより、植物体中のジフェニルピクリルヒドラジル(DPPH)ラジカル消去活性を高めるアスコルビン酸やポリフェノールなどの機能性物質含量が増加する。

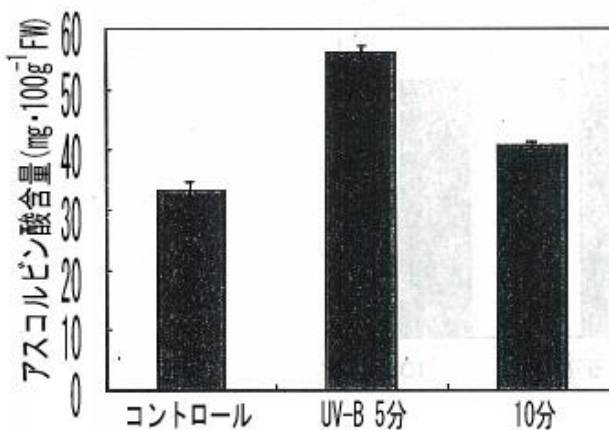


図 芽ネギのアスコルビン酸含量に及ぼすUV-B照射の影響

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティー・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp